

令和6年度事業報告

1. 概要

我が国は、急速に進む人口減少や労働力不足が大きな問題となっております。

活力ある地域社会を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が能力を発揮できる場としてシルバー人材センターの期待は大きなものになっております。

こうした中、就業機会や会員を確保するため会員募集のリーフレットやホームページのアップなど、関係団体への配布並びに一般家庭へのチラシ(新聞折込)等を実施して、シルバー人材センターの役割をPRするなど積極的に推進してまいりました。

また、県連合が行う刈払機講習会に4名、植木剪定講習会に2名、手刈り刃物研ぎ講習会に1名、整理収納講習会に1名参加し、会員の受講者8名が資格を取得し後継者育成並びに会員拡大に繋げることが出来ましたが、依然として会員の高齢化等により会員数の減少も止まらない状況でありました。

令和6年秋に施行されたフリーランス新法にもいち早く適切に対応するための、シルバー事業への新たな契約方法へと円滑な移行も進めてまいりました。

2. 活動状況

(1) 安全・適正就業対策の推進

安全すべてに優先することを念頭に一人ひとりが自覚し、安全・適正就業に徹し事故防止に努めました。

- ・安全対策基本計画及び安全就業事業計画を策定し、安全対策の推進と安全意識の高揚を図った。
- ・安全・適正就業のパトロールによる就業場所の巡回及び点検を実施した。
- ・安全委員会で事故発生の要因分析し再発防止に努めた。
- ・毎月「安全だより」を発刊し情報提供等を通じ、意識の高揚を図った。
- ・リーダーが中心になり、作業確認や安全就業等始業前の打合せを徹底した。

(2) 公正・適正就業の推進

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的就業また、軽易な業務を適正ガイドラインに従ってこれまで契約してきた請負の再確認を行い、併せてローテーション就業も推進した。

(3) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の基本理念と内容について、地域住民や企業の方々に理解と協力を得るため各事業所管内（大月・都留・上野原）各々あらゆる機会を利用して普及啓発活動を行ないました。

- ・普及啓発用チラシ(新聞折込)、パンフレットによる PR 活動を行った。
- ・ホームページによるネット社会に対応した PR 活動をした。
- ・「シルバーの日」を中心としたボランティア活動を実施した。

(4) 就業機会の開拓及び提供

- ・会員の希望と能力に応じた就業機会の確保のため新たな就業分野の開拓に努めました。
- ・市の広報誌等を利用して請負や労働派遣事業の会員を募集した。
- ・女性会員の入会推進を図るため就業先の確保に努めた。
- ・労働者派遣先に会員を派遣した。
- ・現役世代を支える分野のニーズ把握に努めた。
- ・未就業会員に各職種就業先を提供紹介した。

(5) 会議・研修会

センターの運営を円滑にするため、職員の資質の向上を目的とした研修会に参加し合わせて情報の習得に努めました。

- ・安全適正就業推進委員会に出席と併せ独自の安全委員会を開催した。
- ・全シ協や県連合会の開催した講習会に参加した。
- ・技能習得のための講習会に参加した。

3. 事業の実績

令和6年度の請負事業実績は、受託事業件数2,739件、就業実人員238人、就業延人員23,942人で、契約金額は159,216千円であり、前年度実績を3.8%上回ることができ、地域住民や企業の要請に応えることができました。

また、労働者派遣事業につきましては、遺跡発掘調査等が増えたことで契約金額は、28,861千円と前年度実績を37%上回ることができました。

今後も地域社会の活性化に寄与するとともに、大月、都留、上野原各事務所管内で協力し就業機会の確保・安全適正就業の推進を図り会員各位が社会の担い手のリーダーとしての自覚と誇りを持ち就業意識の情勢とシルバー人材センターの基本理念に立った組織運営に努めてまいりました。

以上、報告の概要ですが詳細については以下資料のとおりであります。